

2年生

おはし名人になろう

いろいろな
使い方ができる

はし



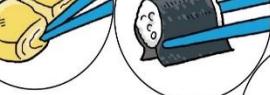
はさむ



はしは、つまむ、はさむ、切る、くるむ、混
ぜるなど、いろいろな使い方ができる万能な道
具です。正しく持って使いこなしましょう。



切る



くるむ



混ぜる

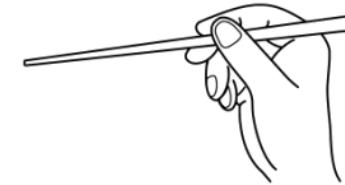


平成25年12月、「和食 日本の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、こうした素晴らしい文化を子供たちに伝えていくことは重要なことがあります。

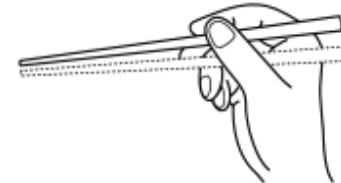
和食は、一膳のはしを使って食べます。古くから使い続けてきたはしは、食べ物をはして「つかむ」「すくう」「切る」などの動作ができるようになるためにも重要です。このようなはしの使い方から、手先がおのずと器用になったと言われています。日本での食事作法は、「はしにはじまりはしにおわる」というほど、はしは重要な食事道具です。

食事のマナーとして身につけておきたいことはたくさんありますが、なかでもはしの使い方は基本でありながら習得が難しいものです。毎日の食事のなかで繰り返し練習を重ね、おはし名人になるようにしましょう。

正しいはしの持ち方



①えんぴつを持つように
中指に乗せて、人差し
指と親指を添えます。



②もう一本のはしは、薬指
に乗せて親指の付け根の
方で支えます。



③動かすのは上のはしだけ
です。
下のはしは動かしません。

